

ピッゲン

Ayelet Pnueli作

2~8人 6歳以上
所要時間15-20分

「9」はまだまだ、「10」はバツチリ!! でも「11」以上になつたらダメダメ...。合計がちょうど「10」になるようにカードを出せれば、出ているカードをすべてもらえます。でも、「10」を超てしまつたら、前の番の人に取られます。カードを順番に出していく、それらの合計が「10」またはそれを超えるまで続けます。ちょうど「10」にして、たくさんカードを集めめた人が勝ちです。



準備

- カードをよく混ぜて、各プレーヤーに伏せて3枚ずつ配ります。これが手札となります。
- 残ったカードは、伏せて補充用カードの山とします。

1

ゲームの進行

- 10まで一番早く数えられたプレーヤーがスタートプレーヤーとなり、その後は時計回りの順番で進めます。
- 手番(自分の番)になつたら、手札からカードを1枚出して、直前のプレーヤーが出したカードの上に重ねていきます。カードを出すと同時に、その時のカードの山の数字(後述)*を、はっきりと言います。その後補充用の山札から1枚カードを補充して手番が終了し、左隣のプレーヤーの手番となります。
- カードの山の数字*がちょうど「10」になった場合は、「ピッゲン!」と言って、すでに出されているカードすべてをそのプレーヤーが取り、自分の前に伏せて置きます。
- もし、10を超てしまつた場合には、直前のプレーヤーが、出しているカードすべてを取り、自分の前に伏せて置きます。

2

“山の数字”とは…

- まだテーブルの中央に1枚もカードが出ていないときは、最初に出すカードの数字がそのまま山の数字になります。
- それ以降は、直前のプレーヤーが言った数字に、新たに重ねて出すカードの数を加えた数が山の数字となります。

〈例〉 プレーヤーA,B,C,Dの4人でプレイしています。



3

特別な場合

「±5」

±5のカードを出した場合は、山の数字に5を加えるほかに、5を引くこともできます。
ただし、マイナス数字にすることはできません。



Aが「±5」を出して
「5」と言います。



Bは「1」を出して
「6」と言います。



Cは「±5」を出して
「1」と言います。

「0」

「0」を出した場合には、山の数字が常に「0」になります。
前のプレーヤーが言った数字に関係なく「0」になります。



Bは「0」を
出して「0」と
言います。

4

「同じ数」

前のプレーヤーが出したカードまたは山の数字と同じ数字が書かれたカードを出した場合には、通常通りその数を加えるほかに、出したカードに書かれた数字をそのまま山の数字にすることもできます。



Aは「3」を
出して
「3」と
言います。



Bは「4」を
出して
「7」と
言います。



Cも「4」を
出したので
「4」と
言えます。



Dも「4」を出
しましたが
「8」と
言いました。



Aは「8」を
出したので
「8」と
言えます。

5

終了

- 補充用の山札がなくなってもそのままゲームを続けます。
- すべてのプレーヤーのすべての手札がなくなったらゲーム終了です。
- 自分の前に最も多くのカードを置いているプレーヤーの勝ちです。

ルール問い合わせ先:

Möbius
メビウス ゲームズ

東京都文京区後楽 1-1-15 梅澤ビル 5 階
Tel 03-3815-5956 Fax 03-3815-7956
shop@mobius-games.co.jp
<http://www.mobius-games.co.jp>

6